

以上の如き生産却河に於ける恐慌の深化は、之れを土に与する金融却河の進行を余慮し絶えまじき動搖は遂に古來資本主義の中心をなす米國に於ける三月に於ける恐慌に於て、今このように、一三の金融却河の数字を争ふるならば、如何に全世界の資本主義の恐慌に於ける統制網としての金融機關の極度に行詰りを来たし、必然的なる資本主義の没落の途に於けるものか知らるゝ。

米		英		日	
米	英	米	英	米	英
1928年	57,277,4	753,533	57,654	1928年	54,259,1
1929年	32,935	637,105	12,468	1929年	54,259,1
1930年	3,757	461,321	40,422	1930年	40,422
1931年	9,247	212,700	40,422	1931年	26,015
1932年	3,471				

深大なる恐慌によつて惹起されたる金融混亂の過程は更に進んで、今や全世界の通貨の平衡の混戦と崩壊の域に達して、一九三一年イギリスに於ける金本位停止の如き、五月には、米國に於ても、遂に金輸出を停止し、國際銀行の通貨の自由は奪はれ、金輸出と國際信用の破壊と爲替相場の動搖とは、三者を以て米國に於ける原因となつて、恐慌を深大に爲してゐる。

この生産、金融却河の行詰りを打開せんとする、資本家の政策は、遂に各國に於ける

インフレーション政策の遂行を余慮なくせしめ、紙幣の無限の発行、利率の引下り、物價の上昇等によつて、此政策の遂行をなし、生産階級に対する搾取の遂行によつて、資本主義の道を計つてゐる。

米		英		日	
米	英	米	英	米	英
1931年7月	6年	1932年6月	2年		
1931年7月	1/105	1932年7月	4年		

資本家階級の以上の必死の努力も、根本に於て行詰れる資本主義経済をして、インフレーションの政策の満足なる遂行を期することが出来ない。たゞことは、首場の各國物価指數表の如く、初如く、米國英國に於ては、三二年九月を境として、下落の途を辿り、併國に於ては、三二年六月より下落の途を辿り、吾日本に於ても、三二年十二月を境として、下落をなしてゐる。

実に今日のインフレーションは、明かに第三期の様相を帯びることが確實に見ゆ、即ち、かつて、資本家階級が今日の生産分配の一切の振頭をロウ折し、大衆の窮乏を基礎として資本主義が存立する以上何等の救済の方法なきことが実證される。

各國の資本家階級はこの状態よりして、又自國の資本主義の安定のみを計らんとし、最後の経済斗争の方法即ち輸出競争の取返しめを以てゐる。

各國資本主義の競争は、初期に於ては安價なる商品の大量的生産にあり、第二期は、國產品の